



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉

私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより

令和5年6月1日 第6号 みなみ学園義務教育学校



5/26 応援をありがとうございました～みなみスポーツフェスティバル～



感動をありがとう！

みなみスポーツフェスティバルに向け、子どもたちは、ゴールデンウィーク明けから練習を重ねてきました。ようやく1年生から9年生までの全校児童生徒で実施できるスポフェスというだけあって、当日を待ちわびる子どもたちの思いがとても強かったように思います。

5月26日の当日は、スポフェスを行うのにぴったりの天気でした。開会式の選手宣誓後には花火も上がり、会場がとても盛り上がりました。その後、子どもたちは、たくさんの拍手や温かい応援を受けながら、自分を信じ、仲間を信じ、自分たちの精一杯の演技をしました。低学年ブロックの子どもたちの可愛さ、一生懸命さには、みんなが笑顔になれました。また、中学年ブロックの「全員リレー」では、仲間のために、仲間とともに一つのバトンをつないで走る姿が素晴らしかったです。そして、高学年ブロックでは、「みなみ学園のリーダー」としての思いが伝わるみなみソーランなどの演技に、とても感動しました。高学年ブロックの皆さんの立派な姿は、今後下級生に引き継がれていくでしょう。このみなみスポーツフェスティバルを通して、後期課程生は「下級生の演技の様子もかわいい、とてもがんばっている。もっと優しくしたい。」、前期課程生は「後期課程はカッコいい。あんなふうになりたい。」と、それぞれ思ったことでしょう。これが、みなみ学園の大きな強みだと思っています。競技終了後、クラスごとに記念写真を撮影しましたが、子どもたちの満足そうな笑顔が輝いていました。保護者・地域の皆様のおかげもあり、素晴らしいみなみスポーツフェスティバルになりました。ご理解とご協力をありがとうございます。



あいさつで心をつなげよう～縦割り班あいさつ運動から



あいさつは、人と人とがコミュニケーションを図る手段の一つです。5月23日から25日まで、縦割り1～3班・4年生以上の児童生徒によるあいさつ運動が行われました。当番の子どもたちは、あいさつをすること、あいさつを返してもらえらることのうれしさや充実感を味わえたと思います。施設一体型義務教育学校になってから行っている児童生徒アンケートでは、「あいさつを進んで行っている」という項目について、あまり肯定的ではない意見が見られます。心をつなげる明るいあいさつが進んでできるよう、保護者の皆様とともに、学校全体で取り組んでいきたいと思っています。

なお、縦割り4～6班は7月上旬、縦割り7～9班は11月上旬にあいさつ運動を行う予定です。お子様が何班なのか確認していただけますとありがたいです。当番の日はいつもとより登校が早くなったり、登校班を抜けたり、必要に応じて朝送りの協力をお願いしたりすることもあります。ご理解とご協力をお願いします。次のあいさつ運動が近づきましたら、マチコミメールで再度お知らせいたします。



生命とのふれあいから

5月30日(火)朝、正門のところで子どもたちを迎えていると、なんと、正門の前にカメの姿が・・・それも、卵を産んでいる最中！登校中の子どもたちも、興奮気味に様子を見守りました。カメは、その後、卵に土をかけ、上手に土の中に埋めました。そして、道路を歩き出したカメは、通りかかった市役所職員に捕獲され、安全な場所へと移されたそうです。次の日の登校時、子どもたちは、次々にカメのことを尋ねてきたので、「お母さんがメは、安全な場所に移動しました。卵は、この土の中にあります。」と伝えると、子どもたちはうれしそうな笑顔を見せました。

次に、ツバメです。昨年は、校長室の外に巣を作ったのですが、今年は、校舎の北側、給湯室の外に巣を作りました。親鳥がヒナ(4羽?)にエサをあげる様子を、子どもたちは、登下校時や休み時間などに観察しています。ヒナはだいぶ大きくなって、巣立ちの日が近そうです。

また、今、1年生はアサガオ、2年生は野菜、のように、それぞれの学年で「植物の生命・成長」に係る活動を行っています。毎朝水をあげたり、観察したりしていますが、まもなく花が咲いたり、おいしい野菜が実ったりすることでしょう。子どもたちの歓声が聞こえてくるようです。



先生方の学び

今年度、本校では、「自分の考えをもち、発信力を高める児童生徒の育成～ICTとこれまでの教育実践のベストミックスによる授業づくりを通して～」をテーマに、研修を行っています。各学年ブロックで設定した目指す児童生徒像の実現に向けた重点単元を学期ごとに設定したり、授業研究グループを組織し、グループ内で1人発表者を決め、各学年ブロックの目標に迫るためにどのような授業を展開したらよいかを検討、実践、協議したりしていきます。私たちは、子どもたちの幸せと成長を願いながら、日々知恵を出し合っているところです。



(文責：野尻)